記者発表資料

平成３０年２月２７日
東北土木技術育成協議会

若手技術者育成のため「東北土木技術人材育成協議会」に自治体等も加え拡大

◆ 平成 29 年 12 月 16 日「第 8 回復興加速化会議」にて示された「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」において、来年度の官民合同の技術講習会を、**自治体職員等も受講対象として拡大開催**することとなりました。

◆ 今回、東北６県・仙台市等を含めて組織を拡大した「東北土木技術人材育成協議会」を開催しますのでお知らせします。

建設産業の専門分野は多岐にわたり、施工・監督・検査などには幅広い知識とi-Constructionをはじめとする新たな技術に関する多様な知識が必要であることから、平成29年度より東北地方整備局、建設業従事者を対象に官民合同技術講習会を東北技術事務所等にて開催しております。

今年度は官民の若手技術者391名（官：189名、民202名）が受講しました。来年度は、**東北土木技術人材育成協議会の組織を現在の6団体から15団体に拡大し、自治体職員等も対象**とし、参加団体が一体となって東北地方の若手技術者を育成していきます。

記

○開　催　日　時：　平成３０年　３月　１日（木）　１３時３０分から

○開　催　場　所：　東北地方整備局　大会議室（１２階）
宮城県仙台市青葉区本町３－３－１　仙台合同庁舎Ｂ棟

○参　加　団　体：　国土交通省東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県
山形県、福島県、仙台市
一般社団法人日本建設業連合会東北支部
東北建設業協会連合会
一般社団法人東北測量設計協会
一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部
一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部
一般社団法人東北地質調査業協会
一般社団法人日本道路建設業協会東北支部
※朱書：拡大９団体

○取材に関して：　会議は公開で開催します。

（発表記者会）青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、秋田県政記者会、
山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会

【お問い合わせ先】　東北土木技術育成協議会事務局　国土交通省　東北地方整備局
・東北技術事務所　総括技術情報管理官　阿部　誠司（電話：022-365-8211（内線 301））
・企画部　技術管理課　課長補佐　大泉　隆是（電話：022-225-2171（内線 3312））

平成29年12月16日復興加速化会議資料

～新たなステージへ～ 東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト

東北地方整備局

- 東北地方は少子化に伴う人口減や高齢化が進行しており、建設業の担い手不足が深刻化
- 平成28年、生産性向上や業務改善、担い手の確保など「東北復興働き方改革プロジェクト」開始
- 東北地方における担い手不足は、引き続き深刻な状況
- 取り組みを広げるためにも自治体や中小企業対策を含めた、新たな取り組みが必要

東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト

① ICT、IoT活用で、生産性向上！

- ICT活用工事の更なる普及推進(見える化プロジェクト)
  - 土工・舗装・浚渫分野への積極展開
  - 自治体へのICT活用工事の拡大支援
  - 中小企業への普及拡大支援
- CIMの導入により、高い精度での設計・施工
  - 設計・施工・維持管理分野へのCIM導入

② 業務改善により、より効率的な働き方を！

- 施工現場でのコミュニケーションツールの活用拡大
  - ウェアラブルカメラ等による現場管理の効率化
- 施工時期の平準化の更なる推進
- 提出書類等の更なる簡素化・簡略化
  - 手続きを簡略化した入札手続きの導入
    簡易確認方式の導入拡大(段階的選抜方式) 他
  - 工事書類の更なる簡素化

③ 働く人々をサポート！(人づくり支援)

- 講習会、研修などでサポート！
  - 自治体職員を含む人材育成協議会の活動推進
  - 自治体職員の防災対応力向上支援(学び塾)
- 復興促進アドバイザーによる自治体復興支援強化
- 女性技術者・若手技術者配置工事の拡大実施

④ワーク・ライフ・バランス改善をサポート！

- 女性技術者、若手技術者をサポート！
  - ワーク・ライフ・バランスを推進する企業を支援
  - 自治体への普及促進
- メリハリのある働き方をサポート！
  - ウィークリースタンス等の推進

東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト ～③ 教育・訓練の充実～

【拡大】東北土木技術人材育成協議会の活動拡大

発注者・受注者双方の技術力向上と、i-Constructionの進展に伴う最新技術の習得を行う必要があり、整備局・建設業従事者を対象とした基礎的技術力向上を目的とした、官民共同の講習会に**自治体職員等も含め拡大開催**

- 平成29年度より整備局、建設業従事者を対象に技術講習会を開催
- 官民の若手技術者391名（官：189名、民202名）が受講
- 今後は協議会組織を拡大、**自治体職員も対象**とした上で参加者負担を軽減するため一部講習を**各県で開催**。

H29で391名受講 ⇒ **約500名受講を目標**



▲土工技術講習会



▲コンクリート技術講習会



▲アスファルト舗装技術講習会



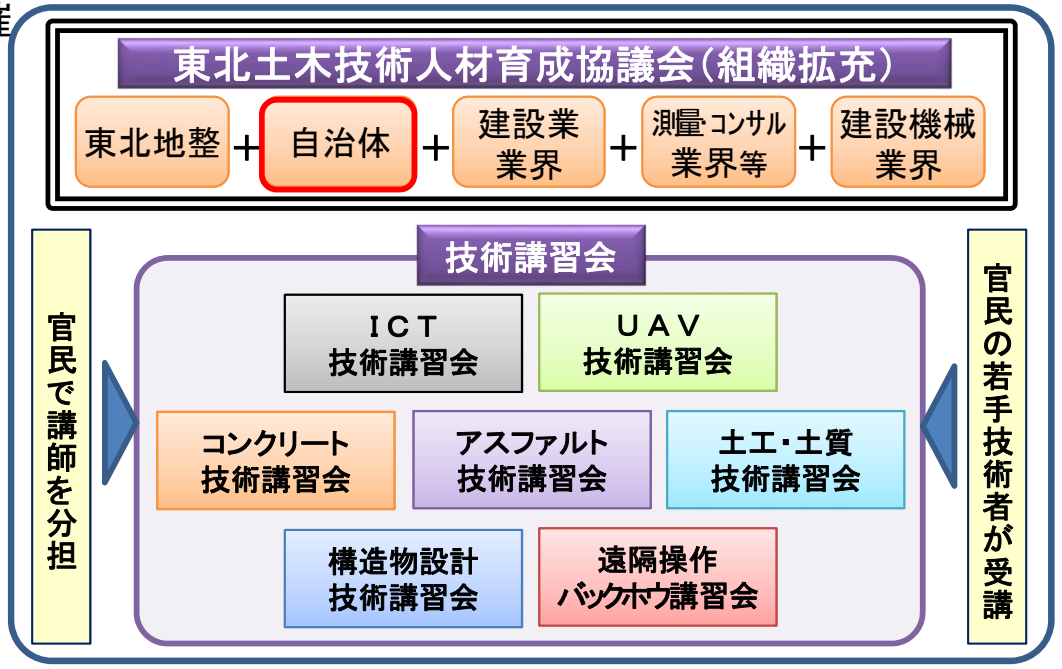
▲UAV技術講習会：実習



▲遠隔操作バックホウ技術講習会：実習



▲ICT技術講習会：実習



がんばろう！東北

全国初！ 官民合同の技術講習会を開催
～官民共同で若手技術者を育成！～

「第7回復興加速化会議」（平成28年12月17日）にて示された「東北復興働き方改革プロジェクト」の一環として、全国初の取組みである「官民合同技術講習会」（土工、コンクリート、構造物、アスファルト、ICT、UAV、遠隔操作バックホウ）を平成29年度から開催しました。

全11講座で延べ391人（官側189人、民間202人）の方に受講していただきました。

○開　催　月：平成29年6月、8月、9月、11月、12月
○講 習 内 容：土工、コンクリート、構造物、アスファルト、ICT、UAV、遠隔操作バックホウ
○開 催 場 所：東北地方整備局　東北技術事務所 等

○主　　催：東北土木技術人材育成協議会
参加団体：国土交通省東北地方整備局
(一社)日本建設業連合会東北支部
東北建設業協会連合会
(一社)東北測量設計協会
(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部
(一社)日本建設機械施工協会東北支部

東北復興働き方改革プロジェクト（一部抜粋）

技術者・技能労働者をサポート！

● 講習会、研修などでサポート
- 技能講習会の充実、官民合同講習会の実施
- 自治体と連携・強力

官民連携による技術講習会の枠組

東北土木技術人材育成協議会（官民人材育成）

建設業業界 ＋ 東北地整（東北技術事務所） ＋ 測量・コンサル業界 ＋ 日本建設機械施工協会

官民で講師を分担

技術講習会
- ICT 技術講習会
- UAV 技術講習会
- コンクリート 技術講習会
- アスファルト 技術講習会
- 土工・土質 技術講習会
- 構造物設計 技術講習会
- 遠隔操作 バックホウ講習会

官民の若手技術者が受講

※□は、今年度実施した技術講習会です

幹 事 会
- ◆ 構成団体からの講師選定、日程調整、講義用テキスト作成
- ◆ 講習会の問題、課題の集約、対応策の検討　　など

講義名	参加人数	講師
土工 技術講習会 (第1回、第2回)	官：42名 (1回:28名,2回:14名) 民：40名 (1回:25名,2回:15名) 計：82名	・菅原　敬二　氏（東北建設業協会連合会） ・今村　隆広　氏、橋本　智雄　氏、山田　満秀　氏 ((一社)建設コンサルタンツ協会東北支部) ・佐々木　康　氏（広島大学名誉教授）　ほか
コンクリート 技術講習会 (第1回、第2回)	官：42名 (1回:29名,2回:13名) 民：36名 (1回:24名,2回:12名) 計：78名	・笠井　和弘　氏 ((一社)日本建設業連合会東北支部)　ほか
構造物設計 技術講習会 (第1回、第2回)	官：36名 (1回:27名,2回: 9名) 民：51名 (1回:31名,2回:20名) 計：87名	・石橋　努　氏、北原　一彦　氏、鏡　幸二　氏、野本　淳也　氏 ((一社)建設コンサルタンツ協会東北支部)　ほか
アスファルト 技術講習会 (第1回、第2回)	官：35名 (1回:27名,2回: 8名) 民：22名 (1回:15名,2回: 7名) 計：57名	・江連　宏　氏（東北建設業協会連合会）　ほか
ICT技術講習会	官：17名 民：14名 計：31名	・鈴木　勇治　氏 ((一社)日本建設機械施工協会東北支部) ほか
UAV技術 講習会	官：17名 民：16名 計：33名	・岩本　春男　氏 ((一社)東北測量設計協会)　ほか
遠隔操作バック ホウ講習会	官：　0名 民：23名 計：23名	・東北技術事務所のみ
合計	官：189名 民：202名 計：391名	土木のみ：(第1回：111名、第2回：44名) 土木のみ：(第1回：　95名、第2回：54名)



▲UAV技術講習会：実習（H29.8.31）


▲アスファルト技術講習会：実習（H29.9.29）


▲遠隔モニタ操作講習（大型土のう積）：実習（H29.11.13）

受講者の声

（土工・構造物・コンクリート・アスファルト）技術講習
- ・液状化、締固め試験といった、普段経験することができないことを体験できてよかった。（土工）
- ・配筋図はこれまでも書いてきたが、今回現場で実物を見学でき、図面の見方が理解できるようになった。（構造物）
- ・失敗事例が大変参考になった。（アスファルト）

（ICT・UAV・遠隔操作バックホウ）技術講習
- ・特に実習が参考になった。2D設計データを3Dにする作業がとても簡単で驚いた。（ICT）
- ・講義がわかりやすく、多くの知識を習得することができた。（UAV）